



2022年6月23日

株式会社 阿波銀行

プロモ株式会社の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、プロモ株式会社（代表取締役 木下 太一郎、本社：千葉県市川市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	プロモ株式会社
所在地	千葉県市川市千鳥町3番地
代表者	木下 太一郎
業種	鉛第2次製錬・精製業
設立	1963年5月28日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。



プロモ株式会社 代表取締役 木下 太一郎

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
環境・社会・経済	環境マネジメントシステムの遂行	未来の地球環境を守り環境負荷低減のために、社内体制の継続的改善に努めます。	①(1)取組みの担当部署、担当者の設置 (2)継続的なPlan(計画)・Do(実施・運用)・Check(点検)・Action(改善)の遂行	 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	 13 気候変動に具体的な対策を
			②(1)2023年までに規程・方針を見直し、全社員へ通知 (2)年2回公害対策会議を実施	 12 つくる責任 つかう責任	
環境・社会・経済	リスクマネジメントの実施	持続的な事業活動のために、自社の業務において発生しうるリスクを認識し、あらゆる対策に努めます。	①(1)リスクマネジメントに関する研修の実施 (2)リスク管理の推進	 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	
			②(1)年2回研修を実施 (2)インシデントの発生件数0件	 16 平和と公正をすべての人に	
社会・経済	職場の安全衛生の向上	労働災害の防止のために、社員一人一人へ安全衛生に関する様々な機会を提供することに努めます。	①(1)安全衛生に関する講習会を定期的実施 (2)労働災害防止に関する様々な機会の提供 (3)協会けんぽへの事業者健診結果の提供 (4)社員と家族の健康管理のため健康保険委員の登録 (5)健康セミナー開催	 3 すべての人に健康と福祉を	
			②(1)年1回研修を実施 (2)労働災害事故発生件数年間0件 (3)35歳以上社員全員提供 (4)年1回健康保険周知会開催 (5)年1回の外部講師による社内向け健康セミナー実施	 8 働きがいも経済成長も	
環境・経済	省エネ・温室効果ガスの排出削減	CO2排出抑制のために、エネルギー使用量の把握に努め、さらなる省エネ・節電を推進します。	①(1)温室効果ガスの削減 (2)LED化の推進	 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	 13 気候変動に具体的な対策を
			②(1)2026年までに重油使用量削減 原単位基準(重油-ℓ/鉛-t) 2021年対比 5%削減 (2)2025年までに導入率90%	 12 つくる責任 つかう責任	

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。